

あいち山村振興ビジョン 2025 年次レポート（2024年度版）【概要版】

第1 作成の趣旨

「あいち山村振興ビジョン 2025」（2020年12月策定）の的確な推進を図るため、毎年度「年次レポート」を作成し、ビジョンに示されている施策の進捗状況を把握し、公表することとしています。

この度、本ビジョンに基づく2023年度の取組をまとめた年次レポートとして「あいち山村振興ビジョン 2025 年次レポート（2024年度版）」を作成しました。

第2 2023年度の主な取組状況

○重点的取組事項の展開

柱1 安心安全で持続可能な地域社会づくり

- 市町村の社会資本整備等に対し、山間市町村振興資金貸付金を貸付け
- 三河山間地域における交通基盤の確保・維持を図るため、路線バス等を運行する市町村に対して、その運行に要する経費の一部を支援
- 5Gを含む情報通信基盤の整備について、全国知事会を通じた要望に加え、県としても国への要請を行ったほか、総務省の情報通信審議会通信政策特別委員会において北設情報ネットワークへの支援を要請
- 広域幹線道路ネットワークを一層強化するため、国道151号、257号、301号、420号、473号や、主要地方道長篠東栄線等の整備を推進
- 森林・農地の多面的機能の維持・向上のため、造林事業、治山事業、間伐等の森林整備や用水路や排水路等の農業生産基盤の整備を推進

柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

- 三河山間地域における移住や起業、集落支援等の企画・運営を行う拠点として、「三河の山里サポートデスク」を新都市に設置・運営
- ふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）に本県専属の相談員を配置した移住相談窓口を設置するとともに、イベントへのブース出展やセミナーを開催
- 田口高校では、自然探究コースにおいて様々な資源を活用しながら地域の課題解決に取り組む探究的な活動を実施したほか、足助高校では、観光ビジネスコースを新設し、豊田市とも連携して、足助を知る・足助を知ってもらうための探究活動を実施



ふるさと回帰支援センターに設置した移住相談窓口
（「愛に行こう！あいち移住・定住相談センター」）



J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2024

柱3 なりわいを育てる

- 起業等により地域課題解決に挑戦するあいちの山里アントレワーク実践者を募集し、採用された実践者（7名）に起業プランの実現に向けた支援を実施
- 農業と他の仕事を組み合わせた働き方である半農半Xについて、相談会、セミナー及び志向者を対象とした現地見学会・市町村等を交えた意見交換会を開催
- 愛知県林業労働力確保支援センター等と連携した就業相談活動や研修事業等を実施したほか、意欲と能力のある林業経営体の育成、新規就業者への支援を実施
- サテライトオフィスとして必要な環境がある奥三河総合センター等において、県内企業等が参加するモニターツアーを実施し、利用者の受入環境を整備



モニターツアーの様子
(奥三河総合センター)



2023年度あいちの山里アントレワーク実践者

柱4 地域資源のさらなる磨き上げ

- 奥三河の「多彩な美」に関する魅力創造・発信のため、県内3か所でプロモーションイベントを実施したほか、奥三河地域の滞在促進に向け、東京都、大阪府を含めた4か所で観光PRを実施
- 愛知産シカ肉利用拡大のため、シカ肉を活用した加工品販売のブース出店（4か所）や、試食イベント（5店舗）を実施
- 「奥三河パワートレイル」で地域特産品の提供等による愛知の魅力発信を行うとともに、「とよね・みどり湖ハーフマラソン」等の三遠マラソンシリーズを開催



道の駅 筆柿の里幸田における
奥三河のプロモーションイベントの様子



三遠マラソンシリーズ

柱5 新たなライフスタイルへの対応

- 三河山間地域のワーケーション等を先導的に推進するため、ワーケーションが実施可能な施設において、県内企業等が参加するモニターツアーを実施するとともに、三河山間地域の魅力を情報発信しているWEBサイト「あいちの山里時間」にワーケーションのモデルコースを掲載し、三河山間地域におけるワーケーション等を促進
- 北設楽郡3町村における空き家等の流通促進に向け、空き家所有者に対して各種相談や物件調査等を行う空き家マイスターを派遣

○地域別の取組に基づく施策展開

額田地域	<ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物である漆・楮（こうぞ）の植栽・維持管理を進めるとともに、商品開発を実施 ・関係人口の創出・拡大のため、地域資源を活かした体験プログラム等を拡充
豊田加茂地域	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療コンテナへの医療物資の往復輸送」をテーマとしたドローンの実証実験を実施 ・豊田市の住まいに関する魅力を発信するプロモーション事業を実施するとともに、首都圏からの移住、山村部での住宅取得を応援する補助金事業を実施 ・道の駅「どんぐりの里いなぶ」において、地元産品を活用した商品販売やイベント広場を活用した販わい創出を支援
新城地域	<ul style="list-style-type: none"> ・「河川上空の航路でのドローンの多目的利用」をテーマとしたドローンの実証実験を実施 ・東名高速道路豊橋新城スマート IC（仮称）早期供用に向けた設計・用地取得等 ・地域おこし協力隊を1名増員し、アウトドアフィールドを活用したサイクルツーリズムと連携して地域活性化活動を実施 ・東三河ドローン・リバー構想推進協議会が実施する実証実験への支援
北設楽地域	<ul style="list-style-type: none"> ・「田口高校お仕事フェア 2023」の開催 ・特定地域づくり事業協同組合「したらワークス協同組合」において、派遣労働者を3名採用し、3つの事業所へ派遣 ・まちなのにぎわい創出、地域課題解決につながる起業に対する支援 ・ふるさと納税の返礼品としての「豊根村ロイヤルキャビア」の出品



ドローンの実証実験の様子
(豊田加茂地域)



ドローンの実証実験の様子
(新城地域)

第3 「あいち山村振興ビジョン2025」に係る評価項目の進捗状況

● 「あいち山村振興ビジョン2025」の進行管理に係る進捗管理指標

指標名		実績値（2023年度）※	目標値（2025年度）※
柱1	公共交通の主な改善件数（累計）	【達成】17件	10件
	道路供用延長（累計）	2.7km	20.7km
	森林の保全整備面積	2,201ha	4,000ha
	農地の保全整備面積	887ha	900ha
	三河山間地域の人口	95,314人	95,105人
柱2	外部人材の交流支援数（累計）	【達成】19件	15件
	移住者数（累計）	670人	1,000人
	移住相談者数	294件	500件
	地域協働を行う県立高校数	2校	2校
柱3	就業支援者数（累計）	40人	50人
	新規就農者数（累計）	35人	85人
	新規林業就業者数（累計）	124人	200人
	サテライトオフィス整備支援数（累計）	【達成】9施設	9施設
柱4	観光レクリエーション利用者数	667万人	660万人
	愛知産ジビエを活用した新商品（累計）	【達成】7商品	5商品
	スポーツ大会数	6大会	5大会
柱5	主なリモートワーク可能施設数（累計）	15か所	18か所
	リモートワーク実証実験数（累計）	【達成】12件	9件
	空き家・空き地の調査件数（累計）	248件	300件

※指標名に（累計）とあるものは、実績値は2021～2023年度の累計、目標値は2021～2025年度の累計